

新聞配達員

田中浩司

八十歳になっても

新聞配達をしていたいものだ

ポストに新聞が溜っているお客さんがいたら

後に訪ねて行き

具合が悪ければ

救急車を呼び

その人の命が助かったら

「私が助けてあげたのではない。

あなたに強い生命力があったからだ」

と言っただけ

父親から虐待を受けている障害者がいれば

その父親の顔を

私は思いきりぶん殴ってやりたい

私は若いころ

川に溺れて助けを求めていたのに

皆、見て見ぬふりをして通って行った

その人たちから勉強をさせてもらった

だから今は

困っている人を

助けてあげているだけのことなのさ

このあいだ

権力者の奥さんから

「上を見ても限がない。

下を見ても限がない」

と言われた

その奥さんは

宗教団体に入っていて

いつも「アミダブツ。アミダブツ」

と言っている

死後の世界も神もない

今生きている命と関って生きていくべきだ

私は以前 大雨に打たれ佇んでいた